

プログラム	田平東小学校サービスランニング		
実施者	平戸市社会福祉協議会、平戸市立田平東小学校 4 年生		
関係機関	いきいきサロン団体 (66 下亀)、郵便局、駐在所		
実施期間	令和 7 年 9 月 26 日 ~ 令和 8 年 3 月 19 日	科目等	総合的な学習の時間 (7 コマ ※1 コマ 45 分間)
事例の概要	自分たちが住む平戸の地域課題について考え、すべての人が幸せに暮らしていくためにはどのような事が必要か、自分たちにできることは何かを考えさせる。地域社会貢献活動を通して地域社会とのつながりや役に立つことの達成感を体感してもらう。	事業費	1,000 円未満
実施した背景	少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中で、子供たちが地域で支え合う意識を育む事が求められている。本学習により多様な方と関わりながら子どもたちが地域の一員としての自覚を持ち、誰もが安心して暮らせる地域づくりについて主体的に考える力を育てる事を目的とした。	目的の達成状況	サロン団体との交流を通して地域の方々と関わる経験を深める事ができた。また地域探検では自分達が住む地域への理解が深まり、支え合いの大切さに気付く姿が見られた。本実践を通して地域の一員として考える意識の高まりが見られた。
発案者	<input checked="" type="checkbox"/> 社協 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> その他 ()	発案時期	令和 7 年 8 月頃
関係者	社協 1 人 学校 2 人 行政 人 施設 人 その他 (郵便局、駐在所) 各 1 人 (サロン団体) 14 人	協議時期	令和 7 年 9 月頃
導入準備	① 期間 令和 7 年 9 月 ~ 令和 7 年 12 月 ② 関わった人 6 人 <input checked="" type="checkbox"/> 社協 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (郵便局、駐在所、サロン団体)		
導入	福祉講話を通して、現状の平戸市の高齢者について学んでもらいこれから行う活動に入っていくやすくする。		
体験(概要)	高齢者疑似体験を通して、高齢者の身体の変化・気持ちの変化について考える。		
実践(概要)	座学で学んだ事を活かすため、地域のいきいきサロン団体との交流会を開催する。グループワークで自分たちが何をしたら地域の方が喜んでくれるのか、幸せな気持ちになってくれるのかを考えながら、計画し実践した。また、自分達が住む地域課題について考えるため、学校付近を探索し地域の中にあるやさしい工夫を発見しながら、課題についても考えてもらった。以上の事をグループ毎に報告を行った。		

所感 (概要)	学校側の積極的な協力により、福祉講話、体験、交流会、まち探索など様々な内容を企画・実践する事ができた。自ら考え計画し、実践・報告を行う事で児童個人では気づけなかった事に気づき、より深く学んでもらう機会となった。
リンク	

田平東小学校ともとも PG（導入準備） <平戸市社会福祉協議会>

① 期間 令和 7 年 8 月 ~ 令和 7 年 12 月

② 関わった人 6 人 社協 学校 行政 施設

その他（いきいきサロン団体、郵便局、駐在所）

③ 入準備内容・スケジュール

日程	コマ数	内容
R7.8		学校側と実施計画内容について検討。社協側で作成した計画案をもとに、学校側の意見・要望と照らし合わせ計画案を作成。
R7.9		いきいきサロン団体へ交流会の依頼、事前打ち合わせを行う
R7.10		郵便局、駐在所へ協力依頼、事前打ち合わせを行う。

※詳細については、都度連絡し調整を行った。

④ 実施計画

実施月	内容	ねらい	協力団体等
R7.9 月 (1 コマ)	福祉講話 (福祉について、高齢者について、地域福祉団体活動について)	平戸市の高齢者の現状について何のために活動を行うか学び、これから行う活動に入っていくやすくする。	平戸市社協 1 名派遣
R7.10 月 (1 コマ)	高齢者疑似体験	高齢者の体の変化や気持ちについて考える	平戸市社協 1 名派遣
R7.10 月 (1 コマ)	グループワーク (実践準備)	座学や体験を通して学んだ事を活かし、自分たちにどのような事ができるか考える	平戸市社協 1 名派遣

R7.11月 (1コマ)	実践① いきいきサロン団体 との交流	地域の高齢者と交流 を通し地域の方とつ ながりや役に立つ事 の達成感を体感して もらう	いきいきサロン団体 (66下亀)
R7.12月 (2コマ)	実践② まち探検をしよう	自分たちが住む地域 について調べ、地域 課題について考える	東田平郵便局、下亀 駐在所
R8.3月 (1コマ)	活動報告(振り返 り)	保護者、学校、関係 者へ報告を行い、地 域全体への福祉教育 を推進する。	学校、保護者、平戸 市社協

田平東小学校ともとも PG (導入・体験) <平戸市社会福祉協議会>

【導入】

- ① 日時 令和 7 年 9 月 26 日 (1 コマ)
- ② 場所 平戸市立田平東小学校
- ③ 関わった人 3人
(社協 学校 行政 施設
 その他 (_____))
- ④ 活用した機材・準備物
・PC ・テレビ
- ⑤ 内容 ・講話「ふくしについて、高齢者について、地域福祉団体の活動について」
(ふくしとは何か、平戸市の人口や高齢化について、地域で活動している高齢者はどのような事をしているのか)
・振り返り、まとめ

【体験】

- ① 日時 令和 7 年 10 月 7 日 (1 コマ)
- ② 場所 平戸市立田平東小学校
- ③ 関わった人 3人
(社協 学校 行政 施設
 その他 (_____))
- ④ 活用した機材・準備物
・高齢者疑似体験セット ・衣服 (着脱用) ・豆つかみセット ・新聞、図書
- ⑤ 内容 ・何のために疑似体験を行うのか説明後、装着し体験してもらう
・体験後、振り返り、まとめ

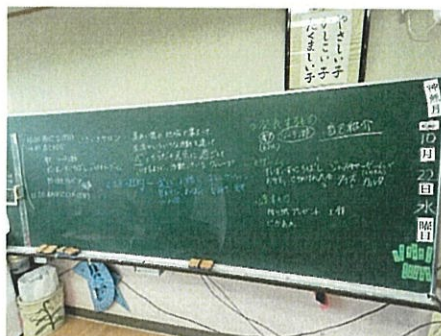
田平東小学校ともとも PG (実践) <平戸市社会福祉協議会>

- ① 日時 令和7年10月22日～令和8年3月19日
- ② 場所 田平東小学校、田平東地区交流センター、学校付近の駐在所・郵便局
- ③ 関わった人 19人
- (社協 学校 行政 施設
 その他 (いきいきサロン団体、駐在所、郵便局)
- ④ 活用した機材・準備物
- ・PC ・テレビ ・まち探検シート (インタビュー用) 冊子 ・車いす
・タブレット (児童)

⑤ 内容

実施月	プログラム	内容
R7.10.22 (2コマ)	グループワーク	11月に予定しているサロン団体との交流に向け、どのような交流会にしたいか、自分達は何をしたら喜んでもらい幸せな気持ちになってもらえるだろうか、自ら考え計画する。(当日までの準備などは学校側で、調整しながら準備する。)
R7.11.27 (1コマ)	いきいきサロン団体との交流会	地域の高齢者の方に元気になってもらうため、座学で学んだ事を活かしながら、自ら考えた内容(劇や歌、ゲームなど)を一緒に楽しみ交流を図った。
R7.12.11 (2コマ)	まち探検(やさしい工夫を見つけよう)	学校敷地内、学校付近を探検し自分達が住む地域について調べ、地域課題について考える。郵便局、駐在所へのインタビューを行った。
R8.3.19 (1コマ)	活動報告(ふりかえり)	クラス内でグループ毎に全体の振り返りを発表。後日、タブレットを使用して各家庭内で保護者へパワーポイントの資料を見せながら報告を行った。

～実践風景～
(グループワーク)



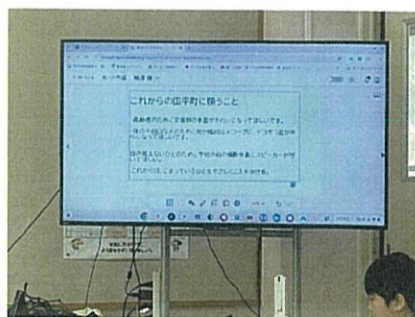
(いきいきサロン団体との交流会)



(まち探検)



(活動報告)



田平東小学校とともに PG（所感等） <平戸市社会福祉協議会>

1、所感

今回の福祉教育を通して、福祉は特別なことではなく身近に感じ捉える事ができたのではないかと感じた。講話や高齢者疑似体験で知識を得るだけでなく、サロン団体の方々と交流を行うにあたり自分達にできる事を考え、人との関わりの中で支えあう事の大切さを感じながら、自ら役に立つ事の実感する姿が見られた。

また、地域探検を通して地域を支える方の気遣いや工夫に気づき、地域課題について考える事が出来た。活動を重ねる中で、自分達にできる事を考え相手の立場に寄り添う意識が芽生えてきた事が大きな成果であった。

2、今後の取り組みについて

本実践で得た学びを一過性のものに終わらせず、日常生活の中で生かしていくことが重要である。そのために、学級活動、日常生活の中で思いやりのある行動や他者への気づきを大切にする機会や子どもたちが地域の中で支え合う関係性を実感できる場の提供を設けていきたい。